



冬



理 念

地域に望まれる理想の医療を目指して

基本方針

1. 私たちは患者さんの立場にたち、安心して満足できる医療を提供します。
1. 私たちは患者さんに心から信頼される医療人を育成します。
1. 私たちは地域に密着した病院としての機能向上を図ります。

小粒でも大きな支え、続く安心



医療法人
社)玄同会

小島病院

理事長挨拶

医療法人社団玄同会 小島病院は本年2月で創立60年を迎えます。

これもひとえに病院と共に歩んでくださった地域の皆さまのご支援、ご理解、そして職員の協力があったことと深く感謝申し上げます。

小島病院は1965年2月、先代小島三喜男が現在地に創立しました。1983年先代である父が病に倒れ、私が急遽帰郷し経営を引き継ぎました。当時の病院は新增築されたばかりで組織が不十分でした。まずは地域に認めてもらうことを念頭に、組織の整備に10年をかけました。その後も2000年の介護保険制度開始に伴い、2008年には「地域連携室」を開設し、地域医療や医療介護連携の強化に努め、小島病院を地域に密着した存在として、地域住民の皆さまから信頼が得られるよう取り組んで参りました。

42年間、無我夢中で走り続けて参りましたが、2020年4月に循環器内科医の小島廉平に院長職を託しました。理念である「地域に望まれる理想の医療を目指して」を軸に、これからも地域の皆さまと共に歩む病院であり続けたいと願っております。これからもどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



医療法人社団玄同会 小島病院
理事長 小島 敬太郎

院長挨拶

医療法人社団玄同会 小島病院は本年、創立60年を迎えます。

創立以来地域の皆さまのご支援、ご理解、そして職員の協力を賜りこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

2013年に私は小島病院に戻りましたが、最初はいち内科医として外来・病棟診療を担いました。それまでの病院規模や地域事情を考え、私の専門としていた心臓カテーテルなど高度な専門治療には踏み込まず、地域で必要とされる医療を中心にお役に立てるよう努力してまいりました。ひたすら患者さんの診療にあたることで、紹介患者は着実に増加し、救急輪番にも参加して地域に根ざした医療を実践できるようになってきました。さらに2015年には電子カルテを導入、2022年に更新し、院内のIT化や業務効率化も進めてきました。法人の規模も徐々に大きくなるにつれて、医師やスタッフの負担も大きくなりました。その中で、2021年には脳神経内科の常勤医が着任し、内科診療の役割を分担できるようになりました。また2020年に院長就任と同時に新型コロナウイルスが発生しましたが、当院のできる限りの対応を行い、なんとか乗り越えることができました。

2024年には医師の働き方改革が本格化し、当院も医療体制の見直しを迫られています。そこで今後AIやIoTなどの新しい技術を積極的に取り入れ、医療の質を落とさずスタッフの負担を軽減できないか思案しております。現在の世界情勢と同様に、現在の医療情勢は予測困難な時代にあります。そのような中でも「地域に望まれる理想の医療」を理念としながら、変化に柔軟に対応していき、院長として病院の発展を牽引し、持続可能な地域医療の提供をし続ける所存です。これからも引き続きよろしくお願い申し上げます。



医療法人社団玄同会 小島病院
院長 小島 廉平

昭和の小島病院 History

(過去の周年誌より抜粋)

表紙の
写真



小島三喜男初代院長の愛用往診車(スバル360)です。医者一人で外来・入院患者の診療を行いながら、患家に往診に行かれていました。今で言う“在宅医療”です。

1945 (S20年)

終戦後、小島三喜男が福山市駅家町大橋の「旧高田医院」を継承し、初代院長として「小島医院」を開業

1965 (S40年) 2月

現在地(駅家町上山守)に「小島病院」を創立

当時の
小島病院



当時の設備



X線透視室



内科診察室



手術室

1974 (S49年)

厚生連より運営を移譲され「服部診療所」開設

当時の
服部診療所



寄宿舎
全景



当時の職員



1983 (S58年) 4月

小島敬太郎が留学先のカナダ・モントリオール神経研究所より帰国副院長に就任

1986 (S61年) 3月

小島敬太郎が二代目院長に就任

増築
完成後



昭和58年当時

予告

第10回

小島病院 地域講演会

演題

「糖尿病と在宅ケアについて」

日時

2025年4月20日(日)10:00~11:20

場所

小島病院 北館2F講堂

講師

小島病院
糖尿病内科医師(日本糖尿病学会専門医) **土井 綾乃**
外来看護師(糖尿病療養指導士) **小林 恵子**

事前申込不要

地域住民の方、患者さん・ご家族、医療介護関係者、どなたでも参加可能です。

お問合せ

小島病院 地域連携室
TEL.084-976-1351(代)

第10回

小島病院ケアマネジャー対象勉強会

Report

日時:2024年11月13日(木) 場所:北館2F講堂

演題

「糖尿病と在宅ケアについて」

講師

小島病院 糖尿病内科医師(日本糖尿病学会専門医) **土井 綾乃**
外来看護師(糖尿病療養指導士) **小林 恵子**

参加された地域のケアマネジャーより「専門の医師から話が聴けて良かった」「低血糖予防の補食の目安が詳しく学べた」などの感想をいただきました。



スライドから引用

第28回

福山医学祭で発表しました

Report

日時:2024年11月10日(日)
場所:福山市医師会

診療放射線技師

山田進也



「尿管結石に対するESWL(体外衝撃波結石破碎装置)治療効果予測因子の検討」

尿管結石に対する結石破碎治療の効果を調査しました。この研究により、ESWLによる結石破碎治療には結石の体積による影響が最も大きいことが示唆されました。これからも診療に有益な検査データの提供を心がけていきます。

接 遇 活 動

— 接遇委員会より —

マスク越しでも笑顔が伝わるような



あいさつを心掛けよう

2024年接遇活動チーム

毎年接遇活動チームが中心となってあいさつ運動を行っています。今年度は、「マスク越しでも笑顔が伝わるようなあいさつを心掛けよう」をスローガンに掲げ、あいさつの質を向上する活動に取り組み接遇研修も開催しました。「医療接遇とは」の講義後、「患者さんの気持ちを理解した対応」について、接遇活動チームで作成した3つの動画、①感じの良い表情と態度②認識の違いの患者対応③クレーム対応を見てスタッフに考えてもらいました。

入院患者さんからいただいたみなさまの声の中で、「WiFi環境」を整えてほしいという要望が多く、検討を重ね、昨年9月からモバイルWiFiのレンタルを開始しました。また、「スタッフの優しい対応で安心して入院生活を送ることができました」とお褒めの言葉もたくさんいただきました。外来患者さんからは、「予約しているのに外来診察待ち時間が長い」とのご指摘もありました。スタッフ一同、少しでも待ち時間が短縮でき患者さんに満足いただけるよう努めて参ります。

日時:2024年12月4日(水)



今年は19名が参加されました。身体のストレッチや口腔体操、便秘体操、レクリエーションを通して、皆様の笑顔溢れる楽しい会となりました。

脳神経内科の竹下潤医師から「パーキンソン病の症状について」の講演も行いました。皆さんが抱えている悩みを先生に相談され、病気に対する理解を深める良い機会となりました。

終了後のアンケートから「とても楽しかった」とのご意見を多数いただきました。また「便秘や転倒を予防する体操をやって欲しい」など、次回開催に繋がるご意見もいただくことができました。

これからも笑顔溢れる会を開催していき、パーキンソン病の症状の進行を少しでも遅らしていけるよう、スタッフ一同取り組んで参ります。

災害対策訓練を実施しました

日時:2024年11月14日(木)



現場から続々と情報が集まってきます

当院では、地震や台風、水害などの災害に備えて災害訓練を毎年行っています。今年度は震度5強の地震発生を想定した初動訓練を行いました。

訓練は非常ベルによる合図を地震発生に見立ててスタート。直ちに対策本部を立ち上げるとともに、本部長(院長)の「非常事態宣言」の下、各責任者はチェックリストに沿って職員数や被害状況、ライフライン稼働状況などを対策本部へ報告しました。本部ではそれらの情報を収集・整理し、患者さんの安全を第一に、診療継続の可否や対応を検討・決定し指示を出していきました。現場ではBCP(事業継続計画)やマニュアルを確認し、大規模災害発生時の動きや役割について改めて話し合いました。

計画的に災害訓練を行うことで、マニュアル等の見直しや修正を行い、有事の際には職員一人ひとりが適切に行動できるよう今後も訓練を重ねてまいります。

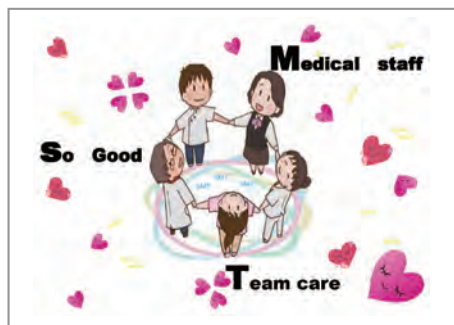
セーフティマネジメントチーム

SMT の 活動

厚生労働省は11月25日を含む1週間を「医療安全推進週間」と定め、患者さんの安全を守るための活動を推進しています。当院でも、職員一人ひとりの医療安全への関心を高め、啓発の機会として医療安全推進週間に毎年「安全標語」を職員から募集しています。

今年は「SMTの頭文字を使ってあいうえお作文」をテーマに募集し、写真の作品が優秀作品として表彰されました。これからも、患者さんが安心して安全な医療を受けられる環境の整備と改善に努めてまいります。

「安全標語」の優秀作品



- その情報 みんなで共有 チーム医療
- 少しでも 矛盾があれば 立ち止まろう
- したつもり まあいっかは トラブルに!!

2024年 SMT

Safety is
Made by
Teamwork

安全はチームワークで作られる



職員旅行だより Vol.2

旅

今回は宮島プラン、九州プラン、大阪プランのレポートをお届けします。お天気に恵まれ、クルーズや観光、温泉、観劇を満喫しました。

宮島編 2024.11/3・4

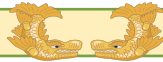


1日目は宮島内を観光し、干潮時には大鳥居を間近で見ることができました。夜のライトアップされた鳥居も迫力がありました。2日目は銀河ランチクルーズでした。今年度で終了する事を旅行前に知り、貴重な体験をさせて頂きました。旅館の食事、クルーズでの食事、とても美味しく日常から離れリフレッシュする事が出来ました。



干潮時の大鳥居を背景に

大阪編 2024.12/15



院長とスタッフ9名で大阪へ行ってきました。まずは大阪 聘珍樓にて中華のコースランチに舌鼓を打ちました。円卓を囲み、いろいろな部署の方と交流する時間も職員旅行の醍醐味です。食後は、メインイベントの劇団四季「ウィキッド」鑑賞。迫力のある舞台装置、素晴らしい歌やダンスに引き込まれました。最後、会場内一体となつてのスタンディングオベーション。充実した1日を過ごし、また明日からの業務をがんばるぞ！という気持ちになりました。

九州編 2024.11/22~24



2泊3日で博多・湯布院・門司港を巡りました。1日目は太宰府天満宮でお参りをし、夜は博多を散策しました。2日目は湯布院へ。温泉は少しヌルヌル感のあるお湯で、肌がしっとりしました。最終日は門司港に寄り、レトロな街並みを楽しみました。体の疲れを取るには、やっぱり温泉が良いと思いました。楽しい、あっという間の3日間でした。また皆で温泉に行きたいです。

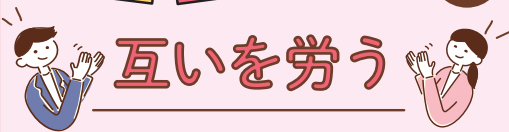


門司港にて



「大阪 聘珍樓」で院長を囲んで

忘年会



2024年の締め括りにお互いの1年を労おうと、医療法人社団玄同会忘年会を12月19日に広島県労働会館みやびに於いて開き、職員ら130人が出席しました。

冒頭で理事長が「1年間大変お疲れ様でした。2025年は小島病院創立60年を迎えるので、より一層力を合わせて頑張りましょう」と挨拶。食事と談笑を楽しむ中、永年勤続などの表彰に続いて、余興としての各種ゲーム、そして病院長率いるロックバンドの演奏などがあり、楽しいひと時はあっという間に過ぎていきました。

最後は新年へ向けた思いを込めて、病院長の発声による一本締めで会を締め括りました。





2025 | 1月のメニューから

栄養科だより



白身魚にえびやホタテをのせて蒸し焼きに。魚介類の旨みの相乗効果で華やかな味になりました。旬のかぶのスープやシャキシャキした水菜のサラダもアクセントに。(1月15日の昼食)

10月のイッピン

冬の根菜ポトフ



冬にぴったりの根菜入りポトフです。生姜たっぷりです。生姜は血行を良くし身体を温めてくれます。大きく切った野菜で満足感のある1品になっています。

(1月15日の昼食)



今月の
ちょっとひとこと

インフルエンザを予防しよう!

免疫力!



インフルエンザとはインフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。症状には咳やのどの痛みなどが見られます。また、発熱、頭痛、筋肉痛なども発症します。バランスのよい食事をとり、体の免疫力を高めウイルスをやっつけましょう。

免疫力を高める食品

タンパク質

魚介類、肉類、卵、大豆製品、乳製品



ビタミンA

レバー、うなぎなど



ビタミンC

緑黄色野菜、果物類



ビタミンE

かぼちゃ、アーモンドなど



編集 後記

今年4月からいよいよ「大阪・関西万博」が開幕します。昭和世代が思い起こす万博といえど何とんでも「EXPO'70大阪万博」。来場者数約6,420万人を記録し、月の石や動く歩道、テレビ電話に人間洗濯機、太陽の塔をシンボルに様々なデザインの世界パビリオンなど、子どもながらに未来への夢に心躍らされた記憶が蘇ります。今回の万博、どうもネガティブな情報が先行の印象ですが、前評判をひっくり返して55年前の盛り上がりと感動を是非、再現してもらいたいものです。 昭和小僧

●診察時間

	午前	午後
診療時間	9:00 ~ 12:00	16:30 ~ 18:00 <small>(眼科のみ) ●火曜日～金曜日 15:00 ~ 18:00 ●土曜日 13:00 ~ 15:00</small>
受付時間	8:15 ~ 11:30	~ 17:30 <small>(眼科のみ) ●火曜日～金曜日 ~ 17:30 ●土曜日 13:00 ~ 15:00</small>

※予約の方は予約時間に従い、受付をお願いします。
※泌尿器科は手術の都合で外来診療受付時間に変更になることがあります。

●診療科目

内科・脳神経内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・内科(呼吸器)
泌尿器科・眼科・リハビリテーション科

●外来診療担当表

2025年2月1日現在

科目	曜日	月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	1診	竹下 (脳神経)	竹下 (脳神経)	竹下 (脳神経)	竹下 (脳神経)	土井 (糖尿病)	竹下 (脳神経)	土井 (糖尿病)	船石 内科(呼)	松山 (脳神経)	松山 (脳神経)	理事長 (脳神経)	中村/古川 (消化器)
	2診	土井 (糖尿病)		原 (消化器)	原 (消化器)	吉田 赤木 高谷 網岡 (循環器) ※3	院長 (循環器)	原 (消化器)	森元 (消化器)	杉崎 ※1 (糖尿病)	森元 (消化器)	原 (消化器)	原 (消化器)
	3診	院長 (循環器)	院長 (循環器)	岡本 ※1 (糖尿病)		院長 (循環器)	船石 ※4 内科(呼)	船石 内科(呼)		院長 (循環器)		吉田(循環器) / 竹下(脳神経) ※5	立山 ※7 (脳神経)
	別診							竹下 (脳神経)				松山 ※6 (脳神経)	
内視鏡診察室(予約)		原		奥田 ※2				森元		森元		中村/古川	
泌尿器科	1診	大口	大口	大口		大口		大口		山中	山中	大口	
	2診	宮本(克)		宮本(克)		宮本(克)	宮本(克)	後藤	後藤	宮本(克)		宮本(克)	
	別診	志熊/岩根	志熊/岩根	宮本(俊)	宮本(俊)								
眼科				瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川

- ※1 9:00~15:00までの診療となります。
- ※2 9:00~16:00までの診療となります。
- ※3 午前と15:30~16:30の診療となります。
- ※4 15:00~17:30までの診療となります。
- ※5 第1・3土曜日は、吉田医師 第2・4・5土曜日は、竹下医師
- ※6 第1・3・5土曜日の診療となります。
- ※7 第4日曜日に係る前日土曜日午後の診療となります。

予約制による
内視鏡他の検査外来
/月・火・木・金・土

※学会などへ出席のため、休診または担当医が変更になることがあります。 ※予約の方は予約時間に従い、受付をお願いします。
※泌尿器科は手術の都合で外来診療受付時間に変更になることがあります。

診療予約変更は午後から電話等でお問合せください。

- 休診日
 - 日曜日・祝日(全科)
 - 土曜日午後(泌尿器科)
 - 月曜日(眼科)
- 面会時間
 - 平日(月~土)のみ/13:00~17:30

こばたけ びょういん

医療法人 (社)玄同会 **小島病院**

〒720-1142 広島県福山市駅家町上山守203
TEL(084)976-1351(代) FAX(084)976-6309
https://kobatake.or.jp

